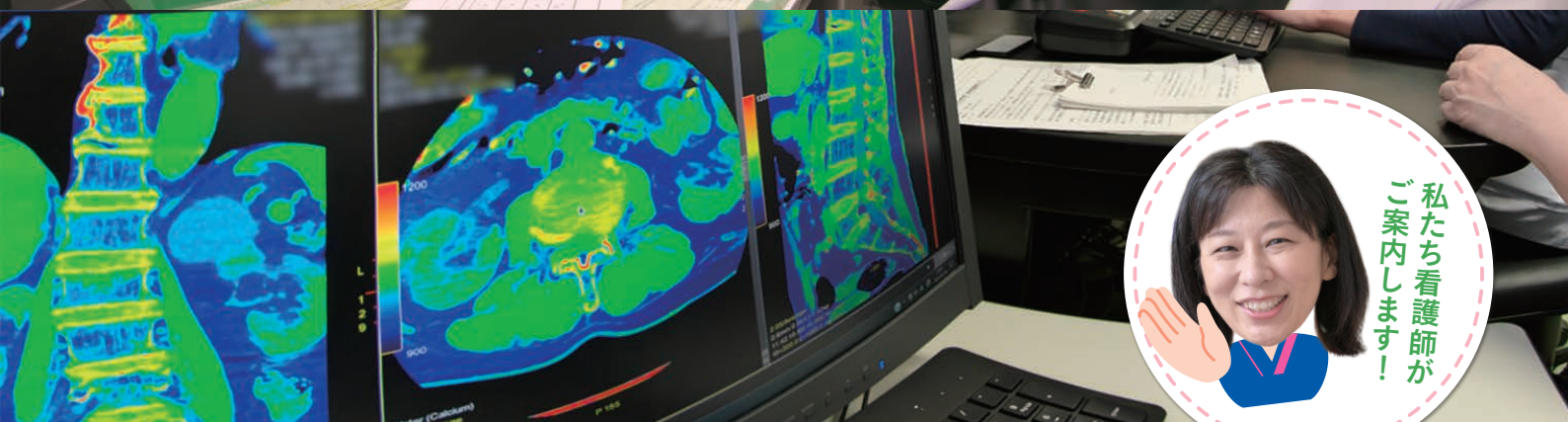




4月号
2021 No.05



SPECIAL REPORT

骨折の早期診断で 背中・腰の曲がりを防ぐ。

整形外科特集

CONTENTS

- ① Cure 病気のおはなし
- ② Care 療養支援のおはなし
- ③ 地域医療を支える新しい力
- ④ 地域医療の豆知識
- ⑤ NEWS & TOPICS

Message 院長メッセージ

西尾市民病院では、令和2年12月に最新のデュアルエネルギーCTを導入しました。AI搭載モデルが研究機関以外に導入されるのは、全国初です。短時間で高精度の画像を得ることができ、患者さんへの負担も大幅に軽減できるデュアルエネルギーCT。今号では、デュアルエネルギーCTを用いた診断・治療についてご紹介いたします。

SPECIAL REPORT

骨折の早期診断で 背中・腰の曲がりを防ぐ。

整形外科特集

最新のデュアルエナジーCTを用いて
圧迫骨折の早期診断と治療を進める。

CHAPTER 01

レントゲンでは 見つけにくい圧迫骨折。

この日、西尾市民病院の整形外科を受診したのは、家族に車椅子を押されてやつてきた70代の女性だった。話を聞くと、一昨日、家の階段を踏み外して、腰を強く打ってしまったという。「近くのクリニックでレントゲンを撮ってもらったんですが、骨折ではありませんでした。でも、痛みがさらにひどくなり、立ち上がることもままならなくなってしまうました」。女性の訴えを聞いた犬飼規夫は、「もしかして、レントゲンでは見えにくい圧迫骨折かもしれません。CT検査（X線を使って体の断面を撮影する検査）をしてみましょう」と話して、診療放射線技師に撮影を依頼した。

検査に用いたのは、令和2年12月、導入されたばかりの最新のA-搭載デュアルエナジーCT（全身用コンピュータ断層撮影装置）だ。これは、2種類のX線エネルギー（低い管電圧と高い管電圧のX線で撮影を行い、通常のCT撮影では得られないさまざまな画像情報を得るもの。たとえば、骨の傷んでいるところは色で示されるので、小さな骨折もクリアに判別することができ。背中から腰部までを中心に撮影したところ、背中和腰の間ぐらいにある脊椎（背骨）には、はつきりと圧迫骨折が映し出されていた。これは、外部からの圧力で、脊椎の椎体（椎骨の円柱状の部分）が潰れてしまう骨折だ。「骨折を疑う場合、まずレントゲン

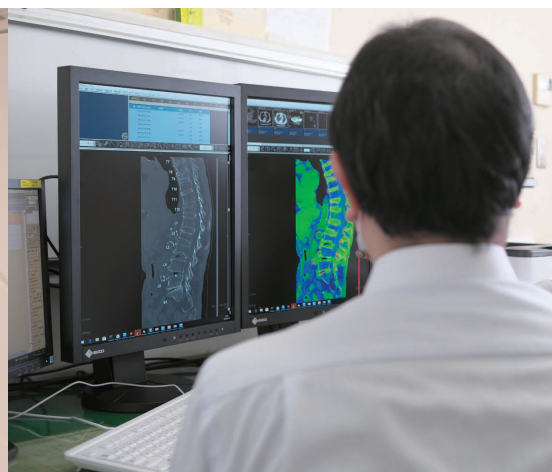
撮影をします。そこでわからないと、CT検査を行います。それでも見つけにくい骨折があります。このような圧迫骨折や骨のヒビ、骨挫傷などで、これらを総称して不顕性骨折といいます」と、犬飼は説明する。

不顕性骨折の場合、続いてMRI検査（磁気を用いて体の断面画像を得る検査）を行うわけだが、撮影に30〜60分程度かかることや、狭い空間で大きな音が聞こえるなど、患者さんの体にかかる負担は大きい。「デュアルエナジーCTなら、短時間で簡単に撮影できますし、一般的なCTよりも被ばく量もかなり抑えることができます。この装置を導入し、骨折の診断が非常に容易になりました」と犬飼。診断のついた女性は腰部にコルセットを装着し、安堵した表情で外来を後にした。

COLUMN

●西尾市民病院に導入されたデュアルエナジーCTは、県下でも数少ない装置で、A-搭載モデルが大学病院などの研究機関以外の臨床病院に導入されるのは同院が初めてのケースとなる。

●A-搭載モデルは超高速・超高画質撮影が可能で、患者への負担が大幅に軽減。撮影範囲は1回転4cmから16cmに拡大した。また、骨折のほか、脳出血、狭心症、肺がん、肝臓がん、腹部大動脈瘤など、さまざまな疾患の発見に役立てられている。



BACKSTAGE

高度な医療機能を 地域で共有する重要性。

●西尾市民病院の画像情報室では、今回取り上げたデュアルエネルギーCTをはじめ、MRI、RI（ガンマカメラ）などの画像診断装置を完備。地域の診療所からの検査依頼を受け、迅速に対応している。

●最新の検査装置をすべての医療機関に配備するのは難しい。病院の高度な検査機能を地域の財産として活かすことこそ、限られた医療資源を有効活用し、地域の医療の質を高めるために必要不可欠な施策といえるだろう。



CHAPTER 02 腰の曲がった高齢者を 一人でも減らしたい。

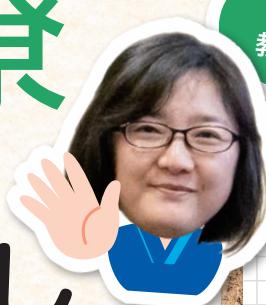
犬飼が腰椎圧迫骨折と診断したケースは明らかに外力が原因だが、本人が知らないうちに生じる圧迫骨折も多いという。「別名（いつの間にか骨折）」とも言います。知らないうちに骨が潰れて、痛みもないので、放っておくととっと潰れていきます。高齢の女性に多く見られ、骨粗しょう症が原因とも考えられています」と犬飼は話し、次のように続けた。「骨粗しょう症になると、骨がもろくなり、背骨が体の重みを支えきれなくなり、背骨がつぶれやすくなるんです。そして、圧迫骨折が進むと、だんだん背中や腰が曲がっていきます」。

骨折を疑った方がいかもしれません。早めにデュアルエネルギーCT検査などを行い、適切に治療を始めれば、骨粗しょう症の進行を遅らせ、将来の背中曲がり、腰曲がりも大幅に予防できます」と犬飼は話す。

見つけにくい骨折の診断に、威力を発揮するデュアルエネルギーCT。犬飼はその高度な検査機能を活かして、地域医療全般に貢献していきたいと話す。「デュアルエネルギーCTの画像診断は、骨折のほかにも、いろいろな疾患の発見に役立ちます。地域のかかりつけの先生からのご依頼に応え、放射線専門医が読影して所見をお返しすることもあります。この最新医療機能を当院だけで使うのではなく、地域の先生方に気軽にご利用いただくことで、地域医療の向上に役立っていききたいと思います」。

骨折をはじめ、さまざまな疾患を早期発見することで、地域で暮らす高齢者の健康長寿を支えていく。そのために、同院は検査・診断の領域で一層大きな役割を担っていくつもりだ。

キュア
Cure
治療
の
おはなし



先生、
教えて！

テーマ

硝子体手術



眼球内にある硝子体を切除する手術。
濁りや出血を除去するだけでなく、
網膜疾患の治療・予防に効果的です。

01 眼球を形づくる硝子体を 切除する治療法です。

硝子体とは眼球の内部を満たしている透明なゼリー状の組織のこと。主に眼球の形を保つ働きをしています。健康な硝子体は透明で、眼に入った光は、硝子体を通して網膜に到達し、映像として認識されます。この硝子体の切除を基本とする手術が硝子体手術です。

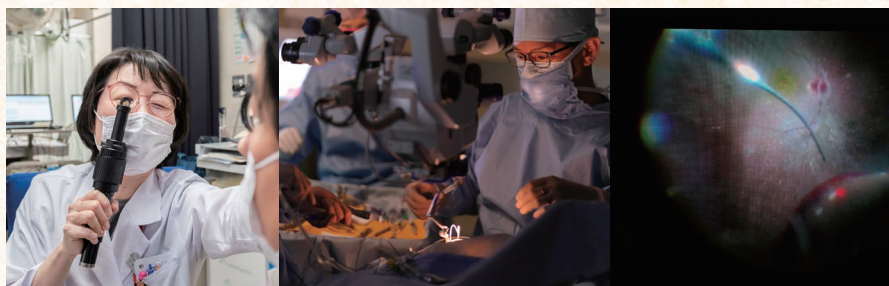
硝子体手術は、主に2つの目的で行われます。1つは、硝子体内部の透明性を回復する目的。加齢や病気によって生じた硝子体の濁りや出血を取り除き、視力の回復を図ります。2つ目は、網膜の病気を治療し、予防する目的。硝子体を切除して「網膜を引っ張る力」を緩めたり、不要な膜や炎症を取り除いたりすることで、網膜疾患を治療し進行を防ぎます。

02 眼球内に特殊な機器を入れて 手術を行います。

硝子体手術は、通常、以下のような方法で行われます。まずは、麻酔。麻酔には局所麻酔と全身麻酔がありますが、硝子体手術では、眼の周辺に注射する局所麻酔が一般的です。麻酔が効いたら、白目に機器を入れるための小さな穴をあけます。穴は全部で3カ所です。術者はその穴から、硝子体を切除する機器、眼の形を保つための液体を

流す機器、照明機器を挿入し、硝子体を除去していきます。その際、必要に応じて、不要な膜の除去やレーザー照射といった網膜に対する処置も並行して行います。疾患や状態によっては、流し入れた液体を最終的にガスやオイルと入れ換えることもあります。

また、若い患者さんを除き、硝子体手術を行う際は、基本的に白内障手術を同時に行います。その理由は、硝子体を切除すると、術後、白内障進行が早くなるためです。



Message

医師からのメッセージ



眼科部長
岩田恵美

幅広く地域のニーズに応える診療をめざしています。

硝子体手術は眼科診療のなかでも、高度な技術と経験を要する治療法です。当院では現在、名古屋大学から硝子体手術の経験豊富な医師を招き、緊急性のない硝子体出血や糖尿病性網膜症、黄斑上膜、黄斑円孔などに対する硝子体手術を行っています。医療機器や技術が進歩したため、以前に比べて、硝子体手術による体への負担は少なくなり、手術の安全性も向上しています。気になる症状がある方は、まずはお近くの眼科医へご相談ください。

また、当科では、硝子体手術だけではなく、子どもの弱視・斜視の診療にも力を入れており、まぶたや顔面の痙攣に対するボトックス注射などにも対応しています。今後も地域で発生する眼科ニーズに幅広く応えられるよう診療機能を高めていきたいと思っています。

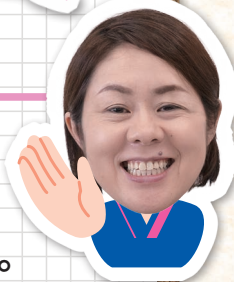
療養支援 の おはなし

テーマ

入院支援

入院前に行う患者支援。
患者さん・ご家族に寄り添い、
スムーズな入院治療に繋がります。

病気を
治すだけじゃ
ありません。



入院に不安を抱える 患者さんやご家族を支えます。

入院支援とは、専任のスタッフが入院前の患者さんやご家族に対して行う支援のことです。入院や手術を前にした患者さん・ご家族は、病気や治療はもちろん、入院生活、お金、社会復帰など、さまざまな面で不安や悩みを抱えます。そうした不安や悩みを少しでも解消し、安心して入院治療を受けていただくことが、入院支援の主な目的です。加えて、入院支援には、患者さんのスムーズな退院を実現する役割もあります。入院する前から患者さんの状態や生活環境、悩みなどを把握しておくことで、退院に関する問題を早期に発見し、先手先手の対応が可能になります。

専任の看護師が面談を実施。 入院当日まで支援を行います。

当院では、患者支援室に所属する看護師2名が入院支援を担当し、外科手術や整形外科の脊椎手術を受ける予定の入院患者さんを対象に支援を行っています。

入院支援では特に入院前の面談が重要です。当院では、主に外来受診時に、担当看護師と患者さん・ご家族の面談を実施しています。面談では、書

類の書き方や必要な物品、術前の注意点などについて説明するとともに、患者さんの体調や不安・悩み、生活状況などを丁寧に確認。患者さんが入院に向けて気持ちや環境を整えられるよう、コミュニケーションを通じた支援を行います。面談後は、病棟や退院支援のスタッフなどと情報を共有。院内の多職種とも連携しながら、スムーズな入退院に向けて調整を行います。最終的には、入院当日に患者さんを病棟にお連れして支援終了です。



Message

私たちが支援します



米津恵美子
(看護師/患者支援室)

一人でも多くの患者さんが、安心して入院できるように。

入院支援とは、簡単に言えば「入院に向けた準備のお手伝い」です。但しこの準備には、書面や物品を揃えるだけでなく、入院前の体づくりや、気持ちの整理なども含みます。手術のために入院する患者さんやご家族は、突然の事態に戸惑い悩みながらも、医師・看護師から治療や入院などについてさまざまな話をされます。それらすべてを理解し、漏れなく準備をすることは簡単ではありません。私たち入院支援のスタッフは、患者さんの悩みや不安をお聞きすることを大切に、一人ひとりが自分のペースで入院の必要性を理解し準備できるよう支援を行っています。現在は一部の患者さんが対象ですが、将来的には体制を強化し、一人でも多くの患者さんの「安心な入院」を支えていければと思います。

地域医療を支える

新しい力

チカラ

対談企画

新入職医師

新人看護師



自分を高め、患者さんを支え続けたい。



お二人とも入職から1年近くになると思います。
西尾市民病院の印象はいかがですか？

赤堀 とても働きやすい環境だと思います。スタッフ間の風通しが良く、みんなで頑張るという風土が根づいているのがいいですね。

永井 同感です。私の勤務する病棟でも、スタッフ同士とても仲がいいですし、先輩たちが「何か分からないことはない？」と、いつも私たち後輩を気にかけてくれます。

赤堀 あと、これは病院というより地域についての印象かもしれませんが、すごく元気なお年寄りが多いと感じますね。90歳を超えたような方も普通に通院されていて、赴任当初は正直驚きました。

永井 私は西尾市民ですが、確かに近所にも元気なおじいちゃん、おばあちゃんがたくさんいらっしゃいますね。それに、この地域っていい人が多いですか？

赤堀 そうそう。地域柄なのか、のどかで優しい人が多いと思う。職員にも地元出身者がいるので、患者さんとスタッフの距離も近く、どこかアットホームな雰囲気がありますね。



これからの目標や展望などについて
お聞かせください。

永井 1年間必死に頑張ったこともあり、少しずつ病棟業務にも慣れてきたと思います。これからの目標は、技術のスピードを上げることと、新入職員に対し、相談や質問がしやすい先輩になることです。

赤堀 1年間で一番成長した点は？

永井 患者さんとの接し方ですね。最初の頃は声も小さく笑顔も引きつっていたと思いますが、今では、患者さんとの何気ない会話を楽しめるようになりました。赤堀先生はどんな目標をお持ちですか？

赤堀 個人としては、今後、難しい手術などを学んで専門性を磨くのか、一般的な眼科診療の力を広く高めるのか、眼科医師として進む方向を決めていければと思います。市民病院の医師としては、一人ひとりの患者さんに最適な診療を提供できるよう、さらに研鑽を積んでいきたいです。

永井 私も、患者さんの入院生活をしっかり支えられるよう、成長を続けたいと思います。



眼科 新入職医師(2020年3月～)

赤堀友彦(あかほりともひこ)

岐阜県出身。感覚器官と細かい手術に興味があったので、眼科の道に進みました。

新人看護師(1年目)

永井薫子(ながい かおるこ)

愛知県西尾市出身。看護師になる前は、大学でプログラミングを学んでいました。

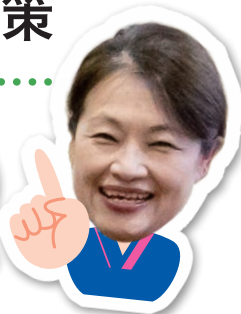
こんな言葉知っていますか？

地域医療の 豆知識

M A M E C H I S H I K I

テーマ
褥瘡対策

今回は
〈褥瘡対策〉について
学びましょう



重症化すると命を落とす危険も。
リスクを一つひとつ取り除き、
発生や進行を予防することが大切です。

寝たきりのように同じ姿勢が長時間続くと、体の一部が圧迫されて血流が悪くなり、皮膚や周辺組織が壊れてしまうことがあります。こうした状態のことを、一般的には「床ずれ」と、医学的には「褥瘡(じよくそう)」といいます。



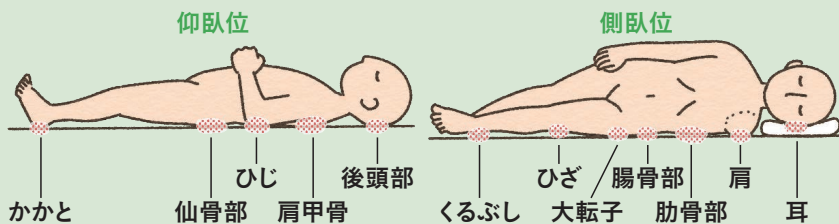
褥瘡は、初期では皮膚が赤くなる程度ですが、進行すると骨がむき出しになるほど重症化することがあります。さらに最悪の場合、感染症を併発して命を落とすこともあり、早期発見・早期治療、予防が大切です。

褥瘡は、持続的な圧迫、摩擦やずれ、皮膚・筋力の衰え、皮膚の不衛生、栄養不良など、さまざまな要因が複合して発生します。そのため、褥瘡対策においては、できた傷を治療するだけでなく、定期的な体位変換や体圧分散寝具の活用、清潔ケア、栄養管理、リハビリテーションなどを通じて、そうした要因を一つひとつ取り除いていくことが重要です。

つひとつ取り除いていくことが重要です。

褥瘡の発生リスクが最も高いのは、病气療養中の高齢者です。なかでも自宅で療養する患者さんに多く発生します。高齢化が進み、在宅医療が推進される日本では、褥瘡対策はこれまで以上に重要な問題となっています。

褥瘡が起きやすい部位



西尾市民病院では

院内はもちろん、地域全体の褥瘡対策の向上をめざし活動しています。

当院では、皮膚・排泄ケア認定看護師2名と褥瘡回診チームを中心に、以下のような褥瘡対策を行っています。

まずは、院内向けの対策。チーム回診などを通じて徹底的に入院患者さんの褥瘡発生を予防するとともに、通院患者さんに対しては、重症化予防をめざし、認定看護師がケアや指導を行っています。また、定期的に院内勉強会を開催するなど、職員教育にも力を入れています。

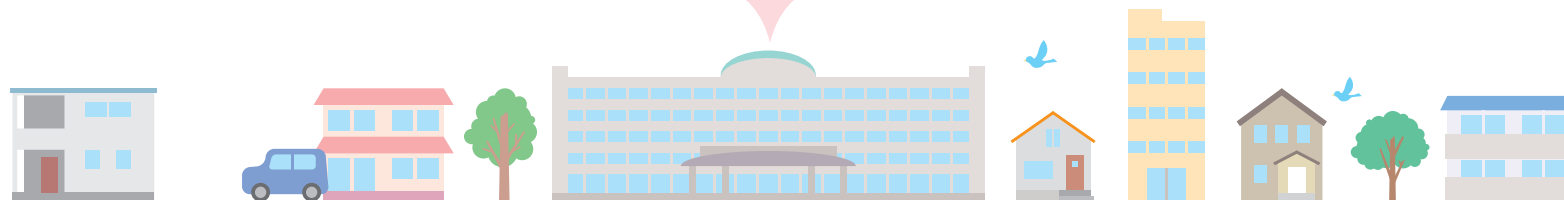
次に地域向けの対策。地域医療機関や介護施設からの褥瘡に関する相談に対応し、介入が必要な自宅療

養患者さんに対しては往診も行っています。さらに、地域全体の褥瘡対策の向上をめざし、市民向けの講演会や医療・介護関係者向けの勉強会も開催しています(※)。

当院では今後も、地域の中核病院として、全力で褥瘡対策に取り組んでまいります。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現在は一部休止中です。

皮膚・排泄ケア認定看護師
杉浦裕美



ご視聴いただき
ありがとうございます
ございました

西尾市民病院 市民公開WEBセミナーを開催しました！



01 チーム西尾で行う 内分泌・糖尿病治療の ご紹介

内分泌・糖尿病内科 医長
川久保充裕



02 睡眠中に 呼吸が止まってませんか？

耳鼻咽喉科 部長
田中宏明

録画あり



03 明日は我が身かも？ ～知っておきたい心房細動～

循環器内科 部長
湯浅大祐

録画あり



04 骨折をより素早く判断 できる可能性大！ 新導入デュアルエナジーCT

整形外科 部長
犬飼規夫

録画あり

当院の医師がWEBセミナーに登壇。チャットによる質問にもお答えしました。

令和3年3月28日(日)に、市民公開WEBセミナーを開催しました。当セミナーは、コロナ禍でも市民の皆さんに正しい健康情報や病院の知識をお伝えしたいと、中日新聞LINKED主催、西尾市民病院共催で実施したものです。当院の医師が講師を務め、病気予防や療養生活に役立つ情報をご紹介します。チャットによる質問コーナーなども設け好評でした。

応募総数 335名
参加総数 170名(※)

※一部、録画配信のみの講座を含むため令和3年3月28日現在

Voice 参加者のコメントの一部をご紹介します！

- 糖尿病の知識がなくても、大変理解しやすい内容でした。
- (睡眠時無呼吸で使用する)器械も見せてもらい、治療のイメージができました。
- カテーテル治療を受けた者として、事後の投薬等の知識を得ることができました。
- WEBセミナーは、とても良い企画で自宅でリラックスして視聴できることが良かったです。

今すぐ視聴できる! WEBセミナー録画配信

一部のWEBセミナーは、期間限定で録画配信をしています。ぜひご視聴ください。

<https://project-linked.work/nishio/webinar>



今だからこそ知りたい! 健康のこと

WEBセミナーで講師を務めた医師監修の健康情報を掲載。ぜひご一読ください。

<https://project-linked.work/nishio/>

看護師募集中!

お気軽にお問い合わせください。



安心して働ける
サポートがあります。

お問い合わせ先 西尾市民病院 事務部 管理課 職員担当
0563-56-3171 (内線2286)

病院広報誌 特設サイト



こちらから



地域の皆さんや連携機関の皆さんと「西尾市民病院」を情報で繋ぐ、広報誌連動型コミュニケーションサイト。ぜひご覧ください。

LINE〈公式〉アカウント

病院広報誌「Ciao」のLINE〈公式〉アカウントを開設しました。QRコードから「友だち追加」をお願いいたします。



西尾市民病院

NISHIO MUNICIPAL HOSPITAL

〒445-8510 愛知県西尾市熊味町上泡原6番地

TEL 0563-56-3171 (代表) URL <https://hospital.city.nishio.aichi.jp/>



4月 2021
月号 No.05

発行責任者/院長 榑宜田 政隆

発行/西尾市民病院

記事提供/中日新聞広告局

編集協力/プロジェクトリンク事務局

発行日/2021年4月15日